

図書館へいこう!

2019上半期 芥川賞・直木賞 そろえています!

芥川賞

『むらさきのスカートの女』

今村 夏子 / 著

近所に住む「むらさきのスカートの女」が気になる〈わたし〉。自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導し、その生活を観察し続け…。狂気と紙一重の滑稽さ。〈わたし〉が望むものとは?



直木賞

『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』

大島 真寿美 / 著

江戸時代、芝居小屋が立ち並び大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた…。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。



今月のBEST本 (7月の貸出回数上位本)

『ノーサイド・ゲーム』

池井戸 潤 / 著

大手自動車メーカーのエリート社員・君嶋は工場の総務部長に左遷され、ラグビー部のゼネラルマネージャーを兼務することに。ラグビーの知識も経験もない君嶋が、お荷物社会人ラグビーチームの再建に挑む。



9・10月のイベント情報

- 9/7 14:00～ おはなし会
- 9/14 14:00～ おはなし会
- 9/21 10:00～ マスクプレイ・オペレッタ
「ねずみのすもう」
- 9/21 14:00～ おはなし会
- 9/28 14:00～ おはなし会
- 10/5 14:00～ おはなし会



劇団バクの
マスクプレイ・オペレッタ
「ねずみのすもう」
全国で活躍中の劇団バクがやって
くる!等身大の人形たちが歌い踊
る迫力いっぱいの舞台です。

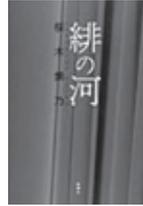
話題の新作本



『緋の河』

桜木 柴乃 / 著

男として生まれた。でも、きれいな女の人になりたいな。己の信じる道を進んだカラーセル麻紀の波瀾万丈の人生を、事実を元に、想像力を最大限に加えて描く。



『線は、僕を描く』 砥上 裕将 / 著

両親を事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の霜介は、バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山と出逢った。なぜか湖山に気に入られた彼はその場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛は、それに反発し…。



『希望の糸』

東野 圭吾 / 著

死んだ人のことなんか知らない。あたしは、誰かの代わりに生まれてきたんじゃない。ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩。



『クジラアタマの王様』

伊坂 幸太郎 / 著

製菓会社に寄せられた1本のクリーム電話。広報部員・岸はその事後対応をすればよい…はずだった。だが訪ねてきた男の存在によって、岸の日常は思いもよらない事態へと一気に加速し…。



『さよならの儀式』 宮部 みゆき / 著

人生は一度だけ。なるべく幸せでいた方がいい。なるべく愛する人と、おいしく食べた方がいい。著者本人の体験を元に描かれた傑作エッセイ。



『夏の騎士』

百田 尚樹 / 著

あれから31年。ほくが今もどうにか人生の荒波を渡っていけるのは、あの頃手に入れた勇気のおかげかもしれない。昭和最後の夏に経験した、謎をめぐる冒険、友情、そして恋を描いた、百田版「スタンド・バイ・ミー」。

